

令和4年度 第1回宮城県地域医療介護総合確保推進委員会議事概要

宮城県保健福祉部医療政策課・長寿社会政策課

No.	委員（敬称略）	資料No.	項目等	御意見・御質問	回答
1	若生 栄子	資料1-3	1. 計画の基本的事項（3）計画の目標の設定等（2ページ） 1 目標 【区分Ⅱ】居宅における医療の提供に関する目標	訪問診療について、高齢者や認知症の方が安心して（特にコロナ禍には）医療を受診するために訪問診療は必要。その点で目標値を増やし達成を図ってほしい。	当該目標値は、第7次宮城県地域医療計画を基に設定したのになっておりますが、訪問診療のニーズの高まりへの対応は重要であると認識しており、令和5年度末の目標値達成に向け、各種事業に取り組むとともに、第8次宮城県地域医療計画の策定に向けて、引き続き検討してまいります。
		資料1-3	1. 計画の基本的事項（3）計画の目標の設定等（3ページ） 1 目標 【区分Ⅴ】介護従事者の確保に関する目標	介護職員のイメージアップ、中高年参入、外国人介護人材受け入れと共に、他職種並みの賃金を払うことが必要。介護人材離れの大きな大きな原因と思われる。介護事業所だけの努力では解決できない問題としてとらえるべき。	イメージアップ事業等による人材確保に向けた取組につきましては、今年度も引き続き推進してまいります。 また、介護職員の賃金に関しましては、国に対し介護報酬の体系を検証し、都市部でも地方でも等しく人材が確保できる報酬となるよう求めております。
2	藤代 哲也	資料1-3	1. 計画の基本的事項（3）計画の目標の設定等（2ページ） 1 目標 【区分Ⅰ】地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備に関する目標	2025年(令和7年)まで地域医療構想上で必要となる回復期病床を達成するための令和4年度の目標値が設定された。まず、令和2年度の現況値と令和2年度の本計画で設定された目標値を比較すると、仙南区域のみが達成であり、他の3区域は未達成。特に仙台医療圏は725床不足している中で、令和4年度の目標値は2,487床と更に増加して設定している。しかしながら、資料1-4では、回復期病床の確保に向けて病床機能の転換を図る医療機関は存在しない。そのような状況を踏まえると、形式的に目標を設定するのではなく実現可能性のある目標を設定すべきであり、このままの目標を設定するのであれば目標の達成に向けてどのように回復期病床を確保していくかを明示すべきである。	目標数値は、地域医療構想上の2025年(令和7年)までに必要な病床数から逆算して、2022年に必要な病床数を設定しているため、回復期病床については前年度比で増加していくものとなっております。 地域医療構想の達成に向けた事業としては、従前から実施しているハード事業だけでなく、令和元年度から実施している病床機能分化・連携促進調査事業では、構想区域別の医療需要の変化等に関する分析を通じて機能転換を検討する医療機関に対する支援や情報提供を行っております。また、今年度は新たに、民間医療機関も含めた各医療機関に対して、地域医療構想への理解を深めてもらうためのセミナー開催も検討しております。
		資料1-4	・1-1 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備に関する事業 ・1-2 地域医療構想の達成に向けた病床数又は病床の機能の変更に関する事業	引き続き、地域医療構想の実現に向けて、「不足する回復期病床の確保」、「在宅医療体制の充実」と「それらを円滑につなぐ連携体制の構築に向けた取組の推進」という宮城県の方針に変更はないと思われるが、令和4年度の目標を設定した根拠及び今後の展望をご教授いただきたい。	引き続き、ハード、ソフトの両面から支援を行い、将来の必要病床数を達成できるよう、各事業に取り組んでまいります。
3	加藤 陸男	資料1-4	介-14 介護分野就職支援金貸付事業	他職種から初めて介護職への参入にあたり、介護の職業訓練を受講していることが要件となっているため、訓練を受けられるパターンの提示など、利用者の理解しやすいアプローチが肝心だと考えている。	御指摘の内容を踏まえ、利用者の制度活用を促進できるよう対外的なアプローチの方法を検討してまいります。 なお、現在紹介動画を作成しており、必要な資格について触れることにしています。
		資料1-4	介-15 福祉系高校就学資金貸付事業	若年層に対する福祉分野への参入促進の働きかけは、進路決定の一助となり福祉を職業としてとらえる機会の一端を担うものである。対象となる高等学校からの要望に対し、応えることが肝心だと考えている。	御指摘の内容を踏まえ、対象高校との意見交換や情報共有を図るなど、制度に対する理解や周知を図るよう対象高校と連携した対応を検討してまいります。 なお、対象高校の要望に応える形で、現在2次募集の受付開始へ向けた準備を進めております。
4	雫石 理枝	資料1-3	6ページから8ページ 介護施設等の整備に関する目標	仙台圏、大崎・栗原圏及び石巻・登米・気仙沼圏において、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、看護小規模多機能型居宅介護の目標値が現況値よりマイナスとなっているのはなぜか。	目標値は、令和2年度に策定した第8期みやぎ高齢者元気プランの数値を基にしており、令和3年度末時点で目標値を達成したものです。
5	木村 伸裕	資料2-1	資料2-1別表 介護分	介護職員数目標値36,785人と実績値32,079人の差4,706人に対し、資料1-3の3ページ、【区分Ⅴ】介護従事者の確保に関する目標は、38,942人としているが、6,863人の確保は困難であり施設整備を進めることで、益々人材不足となるが、令和5年の需要見込みから介護職員を確保できないことを想定し、施設整備値を下げることはないのか。	施設整備の目標値は、第8期みやぎ高齢者元気プランで策定した目標値を記載しており、目標値としてこの数字を下げることは考えておりませんが、事業者が整備数に見合う職員数を確保できるよう介護人材不足の解消に向けた取組を講じてまいります。
6	土井 勝幸	資料2-2	V 介護従事者の確保に関する事業	事業進捗が未達成の項目が散見されるが、コロナ禍においてやむを得ない状況があることは十分承知している。一方で人材の確保が喫緊の課題であることから、コロナ過でも出来る事業を検討し、場合によっては事業年度の途中であれ修正した取り組みをお願いしたい。既に行っているようであれば、そこを強調した形で効果をご報告いただきたい。	昨年度途中から見直しを図った事業の一つである、介護職員向けのキャリアパス研修は事業内容や開催方法をコロナ禍でも影響の少ないオンライン等に変更し実施いたしました。 今年度につきましてもオンラインの活用ほか、分散型等によりコロナ禍でも実施できる形で介護人材確保に関する事業に取り組んでまいります。
7	細谷 仁憲	資料1-3	1. 計画の基本的事項（3）計画の目標の設定等（2ページ） 1 目標 【区分Ⅱ】居宅における医療の提供に関する目標	在宅療養支援歯科診療所数の指標を、住民が地域において、安心して生活できるようにするために、県全体としてではなく、医療介護総合確保区域毎に設定する必要があると考える。	指標の設定については、今後の第8次宮城県地域医療計画の策定を見据えながら、検討してまいります。
8	石井 幹子	資料1-3	3ページから4ページ	令和5年度末までの目標値が示されていて有難い。どのように目標値を達成するのか明示してほしい。	当該目標値を達成するために、資料1-4に記載の各事業に取り組んでまいります。
		—	—	書面開催ではなく、対面での開催が必要ではないか。	今回は、新型コロナウイルス対応に当たられている医療介護関係者皆様のお時間を確保することが難しいと判断し、書面での開催とさせていただきます。 関係者の皆様の御意見を県計画に反映させる上で本委員会は重要と考えておりますので、次回開催時も新型コロナウイルスの感染状況に応じ、対面開催も含め適切な形での開催を検討していきたいと考えております。